



おたより

令和5年1月号

静岡市清水うみのこセンター

TEL : 054-335-1148

FAX : 054-335-1292

Mail : shimizu-uminoko@po4.across.or.jp

1日(日)～3日(火)は
年始休暇です

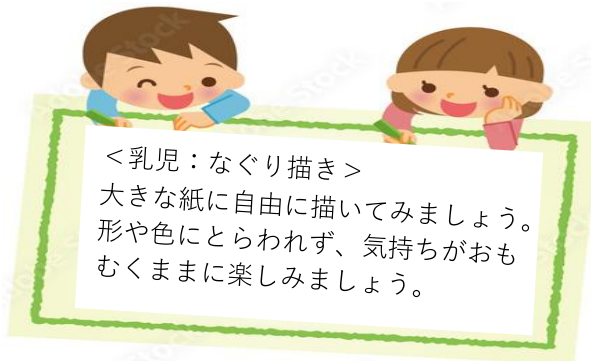
		4(水)	5(木)	6(金)
		ラッコ1 10:00 (親子遊び)	パンダ1 10:00 (親子遊び)	あひる1 10:00 (親子遊び)
		何でも相談	何でも相談	年少 親子遊び 14:00
9(月)	10(火)	11(水)	12(木)	13(金)
成人の日	*ラッコ2 10:00 (親子遊び)	何でも相談 (法人行事)	パンダ2 10:00 (親子遊び)	あひる2 10:00 (親子遊び)
	A1 14:00 (正月遊び)	B 14:00 (正月遊び)	F1 14:00	職員研修
16(月)	17(火)	18(水)	19(木)	20(金)
職員会議	きりん9:45 (正月遊び)	ラッコ1 10:00 (なぐり描き)	パンダ1 10:00 (なぐり描き)	あひる1 10:00 (なぐり描き)
特別指導	C1 14:00 (正月遊び)	何でも相談	F2 14:00	G1 14:00
23(月)	24(火)	25(水)	26(木)	27(金)
りす 9:45 (正月遊び)	しか 9:45 (正月遊び)	ラッコ2 10:00 (なぐり描き)	パンダ2 10:00 (なぐり描き)	あひる2 10:00 (なぐり描き)
年中親子遊び 14:00	A2 14:00 (正月遊び)	D 14:00 (正月遊び)	何でも相談	G2 14:00
30(月)	31(火)	<p><来年度のグループについて> 学年が上がるにあたり、4月からの所属グループが変わります。担当職員からご都合をお聞きしていきますので、よろしくお願いします。</p>		
うさぎ 9:45 (正月遊び)	みんなでほっとする会 10:00			
E 14:00	C2 14:00 (正月遊び)			



～満足度調査へのご協力のお願い～

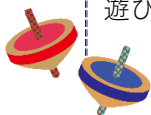
今年度も施設運営に関するアンケートを実施いたします。これは、皆様から幅広いご意見やご要望を頂き、快く利用していただける施設運営や環境整備に努めていくために必要なものです。お手数をおかけしますが、出来るだけ活動日にご記入、ご提出いただけますようお願い申し上げます。ご自宅でご記入をされる場合は返信用封筒をお渡しいたしますので、職員へお声掛けください。

1月の活動のねらい



<幼児：お正月遊び>

凧あげや、駒回しなどのお正月ならではの遊びを行いたいと思います。親御さんも懐かしい遊びを一緒に楽しんで頂けたら嬉しいです。



<乳児：なぐり描き>

大きな紙に自由に描いてみましょう。形や色にとらわれず、気持ちがおもむくままに楽しみましょう。

《みんなでほっとする会》

今回は「コミュニケーション」について皆さんとお話をしました。今年一年生で情緒級に就学した男の子のお母さんにも先輩母として参加して頂きました。お話の一部をご紹介します。

◆子どもに対するコミュニケーション

- ・実際の様子として、言葉でのコミュニケーションが難しい。ジェスチャーで表してくれるが母以外にはわからないと思う。好奇心が強くなり危険な行動につながることもある。子どもの気持ちはわかるようになってきたが、母の思いの伝え方がわからない。
- ・怒ると理由や思いが言葉で伝えられず手足が出たり、物を投げたりする。関わって欲しいという気持ちからだと思うが、相手構わずパンチしたり抱き着いたりするといったお話がありました。

対応として⇒

- ・子どもが興奮している時は伝わらない。咄嗟の危険な行為についてはその場で止めるしかないが、落ち着いている時に繰り返し伝えている。繰り返しの中で、腑に落ちる瞬間があるようで何回目かでわかってくれる時がある。
- ・全て分かり合うことは難しい。諦めることも一つかと最近思っている。
- ・伝えようとするについ言葉が多くなってしまふ。子どもからすると言葉が多すぎて混乱することがある。伝え方、タイミングを色々試してみることは大事。視覚的に伝えたり、体験から自分で学ぶ、また第3者から言ってもらおう等、の体験談やご意見がありました。

◆家族とのコミュニケーション

- ・夫や祖父母が理解があり協力的。仕事が忙しく実質的な関わりは少ないが、母の言うことは理解してくれる。という方々がいた一方で、夫は自分の思いを余り言わず、よく相談する相手ではない。家族には困り感がなく母だけが子育てに行き詰まっていた状態でうみのこを利用し始め、徐々に理解してもらえてきた。自分が勉強したこと等を説明したり、協力を求めるが理解してもらえないというお話もありました。
- ・皆さんに共通していたのは、家族以外に園や療育機関、うみのこセンター等、相談できる場所を作り、一人で抱え込まないようにしているということでした。

最後に先輩お母さんから、目の前のことから少し離れてみる事が必要な時もある。離れる事で冷静にまた考えられる。頑張っている自分へのご褒美も大事♡と参加者のほっとする方法を紹介しました。



うみのこセンターのおたよりは、ホームページから閲覧することができます。

予定の確認等にご活用下さい。

各行事のお知らせや、活動報告等も随時掲載していきます。

うみのこセンター おたより

